



農林水産
大臣賞

点検者は、点検・突発事故データをアプリで送信



アプリを使った点検
現場からGISに送信



リアルタイムで確認

日常管理・故障・要望等報告書			
項目	調査内容	項目	調査内容
調査日時	2025年6月24日	製造年度	底
報告者		要望者	
状況報告	ホップ農業		
規格	ホップの腐しに注意		
場所			
現場写真			

報告書は自動で作成

農業農村
分野

“GIS”と“ノーコードアプリ”を活用した データ蓄積による土地改良施設の効率的な保安全管理

取組概要

熊本平野南部土地改良区は、令和5年度までに4つの土地改良区が合併し、県内最大規模の組織（受益面積A=2,664ha）である。農業水利施設も多数管理しており、その多くは耐用年数を迎え、漏水や油漏れ等の突発事故が発生している。また、施設の日常点検は合併前の組織毎の様式で実施しており、統一した点検記録が蓄積されていなかった。このため、令和7年度に県全体で導入した“くまもと水土里GIS”を活用し、施設の日常点検や突発事故の記録、機能診断結果等情報を共通のプラットフォームの下で『見える化』し、効率的な施設の保安全管理に努めている。

受賞理由

日常点検結果などの膨大なデータの一元管理が可能となり、作業時間が年間で240時間短縮されるなど、業務の大幅な効率化が実現していること、情報をリアルタイムで県、市町村、土地連とも共有することで、早期の突発事故対応にもつながっていることが評価された。

取組のポイント

農業水利施設の適切な保安全管理のためには、施設の点検、補修、更新整備等の情報を蓄積することが重要である。このため、施設毎の位置情報や施設台帳、機能保全計画等のデータをGISに取り込み、情報を一元化し速やかに取得することを可能にした。また、ノーコードアプリを活用し、現場で得た情報をその場でタブレットからGISに登録できるようにし、リアルタイムで容易に情報を更新できるようにした。更に、県及び市町村、土地改良区がオンラインで情報共有できるようにすることで、事故発生時も速やかな情報共有や対応に繋がっている。

受賞者について



受賞者

(右前)熊本平野南部土地改良区 久我 修/緒方 良介
(左前)熊本県土地改良事業団体連合会 西 彩/山口 智史
(後列)熊本県農林水産部 宮川 和幸/磯本 佐知子/椿木 翔士

コメント

この度は、大変栄誉ある農林水産大臣賞を賜り、深く感謝申し上げます。

本取組みは、令和7年度から本格運用している「くまもと水土里GIS」を活用しながら自分たちで様々な調査アプリを作成し、さらにデータの蓄積や情報共有により業務の効率化を図ったものです。

本受賞を励みに、土地改良施設の適切な保安全管理に向けて、業務改善及び省力化に取組みます。

団体概要

「くまもと水土里GIS」は、熊本県内の市町村、土地改良区、JA、農業公社、農業会議、九州農政局、熊本県、水土里ネット熊本等100団体で構成する「熊本県水土里情報活用協議会」で利用しています。県内の農地や農業用水利施設等の情報を共通のプラットフォームの下で『見える化』し、有効活用しています。

問い合わせ先

熊本県水土里情報活用協議会
(熊本県土地改良事業団体連合会) TEL: 096-348-8802
e-mail: midorijyoho@higosanae.or.jp

熊本県農林水産部技術管理課 TEL: 096-333-2425